

近江の鎮守の森自然調査 2022 大宝神社（6）

〈開催日時〉 2022年9月3日（土）
 〈集合場所〉 大宝神社四脚門 栗東市緒
 〈参加人数〉 大谷事務局以下8名

「近江の鎮守の森調査2022」の調査対象は、今年度から大宝神社です。
 調査場所は、【社殿～御神木周辺】【参道（南～西）】【芭蕉句碑～児童広場】【自由広場～蛇の池】【社叢林（林縁～林内）】の5ブロック
 6回目の調査は、季節が進み植物相の変化やこれまでの調査で漏れているものを発見する調査を行いました。
 ちなみに、1回目～5回目の調査で334種の植物をリストアップしています。
 写真は、原則観察順です。観察場所によって重複する種があります。
 本レポートは調査報告としてではなく、調査の雰囲気及び大宝神社の植物相の一端を感じていただくものです。

【蛇の目池周辺】 ウマノスズクサの一部が刈り取られていましたがしっかり残っており、来年も咲いてくれると思います。

カクレミノの果実



8月6日の花



ヒヨドリジョウゴ

コセンダングサ



ヌカキビ

フトイ



ピロートエノキグサ 手触り抜群



健在 ウマノスズクサ



ヌスピトハギ



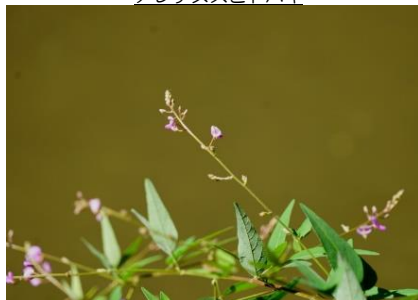
アレチヌスピトハギ



アカカタバミ



ダントボロギクの種子



カクトラノオ 園芸種



クサイ



トキワハゼ



コバナグサ

【広場】 グランドの端、しゃがみ込んで小さな植物を観察
 観察・調査風景



ウラシロチチコグサ&チチコグサのロゼット 来月再確認





コメガヤツリ



カニクサ



ギョウギシバ



アキノメシバ 小ぶり、葉鞘に毛が無かった



アメリカオニアザミ



ユウゲシヨウ



スイカズラ



スダジイの果実



サカキの果実



【保護活動・その他】 カラタチバナはしっかり根付いている
今回の カラタチバナ

芭蕉句碑コースの カラタチバナ



7月2日 花が咲いている状態



アメリカカタカサプロウ 来月に種のヒシの有無を確認

シンミスヒキ

キツネノマゴ



ホソバアキノゲシ 羽裂しない



センニンソウ





【感想】

半日活動を更に時間短縮して、暑さ対策をした。保護の対象の「カタチバナ」や「ウマノスズクサ」は、無事生育していました。気温は真夏、でもその中で秋も少し感じた。白っぽいロゼットを「ウラボシ」や「ウラボシ」などと記載したが、来月確認したい。タカサブロウも次回への宿題になった。

次回の調査は、大径木の計測等を予定しています。皆様の参加をお待ちしています。